

## 桁移動・旋回工の概要

列車運転休止期間を極力少なくするため、既設トンネルへのすり付け部となるA1～P1間の桁は完成時の位置とすれた位置にて製作します。このため、桁製作終了後に移動および旋回し、本来の位置に設置します。

